

圏央道開通による川島町の整備効果(平成20年3月川島IC開通)

川島IC周辺の開発状況

○土地区画整理事業による産業団地の整備(川島インター産業団地)

・開通前



(平成19年2月撮影)



H20.3: 鶴ヶ島JCT ~ 川島IC開通
 H22.3: 川島IC ~ 桶川北本IC開通

・開通後



(平成27年5月撮影)

川島インター産業団地

○平成20年3月に圏央道(首都圏中央連絡自動車道)川島インターが開通し、その周辺約47ヘクタールを埼玉県と町が連携し、田園環境と調和した産業基盤づくりとして、平成21年8月に基盤整備が完成した産業団地

○埼玉県では平成18年10月に「田園都市産業ゾーン基本方針※1」を策定

※1: 圏央道沿線地域における周辺の田園環境と調和した産業基盤づくりの推進



圏央道整備により、川島IC周辺の雇用・固定資産税の税収が増加しています。

■「川島インター産業団地」進出企業：11社(H27年3月時点)

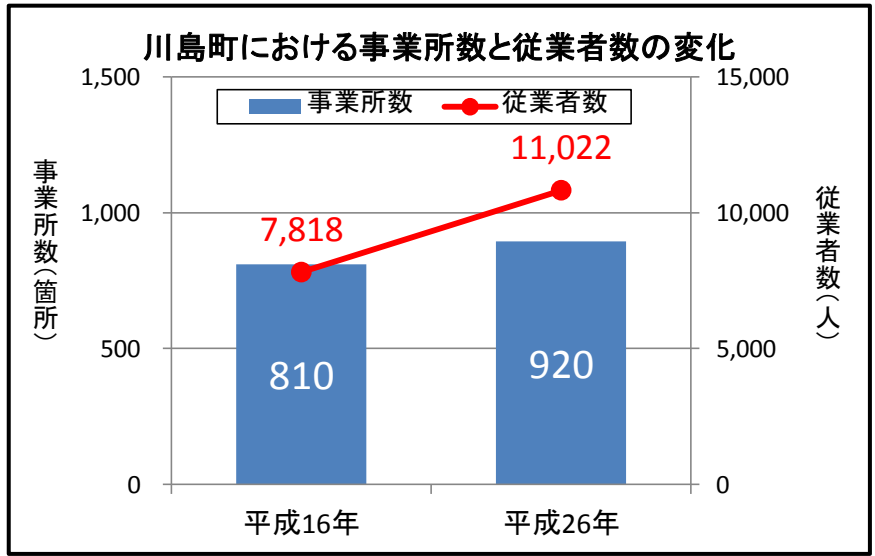
- ・所在地 埼玉県川島町かわじま一丁目、二丁目
- ・開発面積 約47ha
- ・平成21年8月基盤整備完成
- ・11社が操業中
(敷島製パン、関東総合輸送、札内工業、ノハラスチール、トータルパック、宮脇鋼管、コスモフーズ、プロロジス、松屋フーズ、紅屋ホールディングス、ニプロ)

■「カインズモール」進出商業施設：12店(H27年3月時点)

- ・所在地 埼玉県川島町大字上伊草地内
- ・開発面積 約10ha
- ・12店舗が営業中
(カインズホーム、ベイシアフード、ベイシアワールドスポーツ、オートアールズ、蔦谷、スターバックスコーヒー、馬車道、ファッションセンターしまむら、松屋、久兵衛屋、100円ショップミーツ、かつ米)

■事業所数と従業者数の状況

(平成16年事業所企業統計調査と平成26年経済センサスより)



■川島インター周辺の固定資産税

